

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 141-8582

住 所 東京都品川区西品川1-1-1

氏 名 株式会社日本アクセス

代表取締役社長 社長執行役員 佐々木 淳一 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社日本アクセス		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区田辺新田1-7		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	52	飲食料品卸売業
主たる事業 の内容	加工食品卸売業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,706	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 5,285	(実) 5,106	(実) 4,871	(実) 4,842	(実) 5,128
	(調) 5,141	(調) 4,963	(調) 4,711	(調) 4,799	(調) 5,117
削減率		(実) 3.4%	(実) 7.8%	(実) 8.4%	(実) 3.0%
		(調) 3.5%	(調) 8.4%	(調) 6.7%	(調) 0.5%

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	延床面積				原単位等の単位	t-CO2/m ²
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)		
排出量原単位等の値	0.09446	0.09126	0.08706	0.09911	0.09166	
活動量の値	55945.65	55945.95	55945.95	48854.7	-	
排出量原単位等の削減率		3.4%	7.8%	-4.9%	3.0%	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	第一年度は5,106 t-CO2となり、約3.4%の減少となった。 この理由として、2018年度夏が記録的な猛暑だったことと、2019年度は当物流センターでの業務量が減ったことにより、冷凍機・冷蔵機のエネルギー使用量が減ったと考えられる。	
第2年度	第二年度は4,871 t-CO2となり、約7.8%の減少となった。 この理由として、2018年度夏が記録的な猛暑だったことと、2020年度は当物流センターでの業務量が減り、冷凍機・冷蔵機のエネルギー使用量を調整した事・全館照明を新型LEDを使用しエネルギーの使用量が減ったと考えられる。	
第3年度	第三年度は5,293 t-CO2となり、約-0.2%の超過となった。 この理由として、昨今の温暖化により外気温上昇が顕著だったことを踏まえ冷凍機の入替え増強を図りました。全館照明を新型LEDを導入、適切な照度調整を行いこの数値の着地となった。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		全体で目標値以上の数値で着地となった。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		今後も継続して温度管理徹底を図り省エネルギー促進を図る。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関の利用 外部専門家により省エネルギーについて教授してもらう。 ・庫内設備の維持・管理 各種機器設備について定期的に保守、点検を実施し老朽化等で非効率的稼働になっているものを見極めて改善に取り組む。 ・庫内設備の運用管理 庫内の効率的な温度管理を徹底する。 ・空調の運用管理 外気の有効利用やクールビズの実施により空調の有効的な切替を行う。
<p>第1年度</p>	<p>冷凍機の使用については外部機関と連携しコンピュータで消費電力の調整を図った。 庫内設備については年2回点検を実施し、都度不都合設備については直ちに修繕を実施した。 設備運用については自動温度計と目視温度管理を実施し適正な温度管理を実施した。 空調管理はクールビズの実施、扇風機やサーキュレーターを活用して空調管理を実施した。</p>
<p>第2年度</p>	<p>冷凍機の使用については外部機関と連携しコンピュータで消費電力の調整を図った。 庫内設備については年2回点検を実施し、都度不都合設備については直ちに修繕を実施した。 設備運用については自動温度計と目視温度管理を実施し適正な温度管理を実施した。 空調管理はクールビズの実施、扇風機やサーキュレーターを活用して空調管理を実施した。</p>
<p>第3年度</p>	<p>前年度同様に冷凍機の使用については外部機関と連携しコンピュータで消費電力の調整を図った。 庫内設備については年2回点検を実施し、都度不都合設備については直ちに修繕を実施した。 設備運用については自動温度計を増設、温度管理を強化し且つ目視温度管理を実施し適正な温度管理を実施した。 老朽化した冷凍機の更新と別倉庫へ移管等を実施し適切な運用を図り省エネルギーを促進した。</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>温度管理の徹底、冷凍機の入替え等を図り省エネルギーを促進した。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光		
風力		
バイオマス		
未利用エネルギー		
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備		エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	
電気自動車等から建物等への給電設備		その他()	
EV、PHV、FCV		その他()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	・本社広報・サステナビリティ推進部と3ヶ月に一度エネルギー使用量の確認を行っていく。
第1年度	3か月毎に担当部署と連携しエネルギー使用量の確認を行った。
第2年度	3か月毎に担当部署と連携しエネルギー使用量の確認を行った。
第3年度	3か月毎に担当部署と連携しエネルギー使用量の確認を行った。

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	・進化型LEDに変更するか検討
第1年度	2020年度4月より導入
第2年度	2021年度4月より追加導入
第3年度	新型LEDを導入し省エネルギーを促進した。

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量	5,285 t-CO ₂	5,106 t-CO ₂	4,871 t-CO ₂	4,842 t-CO ₂
原油換算エネルギー使用量	2,777 KL	2,724 KL	2,661 KL	2,706 KL
事業所の数	3	3	3	3

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
川崎物流センター	川崎市川崎区田辺新田1-7	3,497	3,325	3,218	3,211

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度